

## 令和3年度 後期学校評価集計結果について

中央市立田富中学校  
校長 丹澤 博

はじめに

本校の保護者、生徒、教職員に対して令和3年12月に今年度2回目のアンケートを実施しました。アンケートの結果を考察し、自己評価を行いました。これを今年度の残りの教育活動及び来年度の学校経営に活かしていきたいと考えます。

### 1 アンケート項目について

アンケート項目は昨年度見直しを行い、より学校教育目標や学校経営方針が反映されるようにしました。そこで項目は昨年度と変更せず、今年度も年2回実施とし、年度内に取り組むべき内容については年度内に対応していきたいと考えました。今回は令和3年度の2回目になります。

### 2 評価について

「令和3年度 教職員・生徒・保護者の学校評価平均点」「学校評価計画」「今年度前期との比較」から考察しました。

#### (1) 評価平均点から考える「努力したい項目」「改善が必要な項目」

- \* 評価は4段階で実施し、平均値を2.5と考えました。  
また、評価平均点の数値を次のように判断しました。
  - 3.0以上「概ね良好」
  - 2.5以上3.0未満「努力したい項目」
  - 2.5未満「改善が必要な項目」

#### (2) 今年度の前期学校評価との比較

- \* 今年度の前期、昨年度の同期の質問内容との変化を見ました。  
すべての項目でプラス評価になりました。詳細については以下の項目の中で述べます。

#### (3) 肯定率から

- \* 評価を4(そう思う)と3(ややそう思う)と、肯定的評価をしている割合を肯定率として算出してみました。90%以上を、取り組みの成果が出ている項目、70%以下を、本校の課題として改善が必要な項目として判断しました。
  - 90%以上を三者(保護者・生徒・教職員)が評価している項目は、今年度前期より3項目増え、10項目になりました。
    - ・生徒は前向きに授業に取り組んでいる。
    - ・自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある。
    - ・各教科において、目標に基づいて適正な評価・評定の実施に努めていると思う。
    - ・先生はわかりやすい授業を進める努力をしている
    - ・道徳の授業等を通して、人権の尊重や思いやり、道徳的な判断力・実践力を育てている
    - ・時間・あいさつ・言葉遣いなどに気をつけ、集団のルールを守り、仲間と協力して生活している
    - ・行事や生徒会活動、部活動を通じて、心身ともに成長している
    - ・生徒の健康管理や安全に配慮している
    - ・正しく生きることについて考えたり、やさしい心・思いやりの心で生活している
    - ・学校・学年・学級だよりなど、様々な便りの発行を充実させている
  - 70%以下の評価となっている項目は三者(保護者・生徒・教職員)とも、ありませんでした。個々にみていくと、肯定率が86%の項目が最も低く、「学校は、生徒が将来の職業や進路について前向きに考えられるように、学年に応じたキャリア教育を行っていると思う」(保護者：今年度前期80%)でした。「キャリアパスポート」を活用し保護者との連携を図ったり、特別活動を要としたキャリア教育の全体像を理解いただけるよう努めた結果ではないかと考えていますが、未来を切り拓く力を育むために学校と家庭・地域が連携して取り組む必要性を強く感じています。

「キャリア教育」について（9月学校だよりより抜粋）

さて、本アンケートの中で「キャリア教育」はわかりにくいというご意見をいただきました。概略を説明します。一般にキャリアと言えば、職業のこと？ 経歴のこと？ など、いろんなイメージがあります。ただ、学校で言う「キャリア」という言葉は、もっと広い意味で使います。「生徒の皆さんが体験するすべての事柄」「すべての経験」「役割を果たすこと」が、その生徒にとってのキャリアという考え方です。もちろん職場体験活動、進路学習もキャリア教育の中心ですが、毎日の授業で、学んだこと・発言したこと・間違えてしまったこと、学級で係を任されたこと、部活動でポジションを任されたこと、青雲祭に情熱を傾けたこと、ボランティア活動をしたことなど、そのすべてがその人の生き方（必ずしも職業に限定したことはありません。）に関わります。この積み重ねの中で自分自身の価値や役割を学ぶことが「キャリア教育」です。

### 3 三分類（「概ね良好」「努力したい」「改善が必要」）した評価について

#### (1) 総括

三者の総合平均点を比較すると、生徒の評価が最も高く、総合平均が 3.45 でした。(今年度前期より+0.05) 教員の評価は 3.43 (今年度前期より+0.13) ,保護者の評価がやや低く、平均で 3.18 (今年度前期より+0.04) でした。今年度前期、昨年度と比較して上がっている項目が多く見られました。

『生徒は前向きに授業に取り組んでいると思う』『先生は、わかりやすい授業をすすめる努力をしていると思う』『授業では、自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある』のいわゆる「主体的・対話的で深い学び」に関する3項目は、前期に引き続き、前年度と比較して大きく向上しました。これは、1学期中に地域学力向上推進幹を招聘して3度にわたる個別指導を受けたことをはじめ、ポイントをしばって「授業づくり」に取り組んだ結果だと言えます。また、これに加え、『自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある。』『各教科において、目標に基づいて適正な評価・評定の実施に努めていると思う。』も今回のアンケートで大きく向上しました。ただ、家庭学習に結びついていないのではないかと意見もあります。「振り返り」の充実や「家庭学習取組表」の有効活用が必要です。また、適正な評価という観点だけではなく、生徒のやる気に火をつけられるような日頃の評価を検討・充実させていく必要があります。これらのことについては、3学期の重点項目として取り組みます。一方、今年度前期、前年度と比較して、下がった項目は、ありませんでした。

#### (2) 「概ね良好」(3.0以上)の評価について

- \* 保護者、生徒、教職員に共通する10項目すべて3.0以上の評価でした。
  - ・生徒は前向きに授業に取り組んでいる
  - ・先生はわかりやすい授業を進める努力をしている
  - ・授業では、自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある
  - ・学校は、時間・あいさつ・言葉づかい等のルールやマナーの大切さ、よりよい生活習慣を指導している
  - ・先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応し、家庭との連絡を密にするとともに、生徒からの相談に適切に応じてくれる
  - ・道徳の授業等を通して、人権の尊重や思いやり、道徳的な判断力・実践力を育てようとしている
  - ・行事や生徒会活動、部活動を通して一人ひとりの生徒のよさを発揮させ、体を動かすことの楽しさや体力づくりの大切さを指導している
  - ・生徒の健康管理や安全に配慮している
  - ・学校行事や生徒会活動、部活動は生徒にとって充実した活動になっている
  - ・学校・学年だよりや保健・図書だよりなどの発行を充実させ、PTAの会合でも、学校の取組を知らせている

#### (3) 「努力したい」(2.5以上3.0未満)の評価について

三者がそろって2.5以上3.0未満の評価をした項目は、ありませんでした

さらに「授業と家庭学習の有機的な結びつき」「学びの大切さ」などを切り口に、生徒とともに「家庭学習の習慣化」「学力向上」について「家庭学習取組表」を柱に全校体制で取り組んでいきます。これからの時代を切り拓く子どもたちにとって、自ら課題を見つけ課題解決する力は必要不可欠です。家庭学習（疑問に感じたこと・わからなかったことを解決させるための家庭学習）は課題解決能力につながることを生徒・家庭と共有し、家庭学習の充実を模索していきたいと考えます。

#### (4) 「改善が必要」(2.5未満)

今回のアンケート調査の結果で平均値以下の2.5未満の項目はありませんでした。

#### 4 成果と課題について

##### (1) 【成果】今年度後半（前期からの引き継ぎがほとんどであるが）に取り組んだ事への評価と考察

今年度、中央市の教育の基本「まごころ」、本校校訓「誠実」を踏まえ、『手厚い指導』を全職員で心がけています。

後期も前期に引き継ぎ、3つの柱として、①「主体的・対話的で深い学び」の高い次元での実現②家庭学習の習慣化③生徒の声に耳を傾け、生徒にとって「楽しい学校」の実現（悩み相談、いじめ等の早期発見・早期対応を含む）を設定しました。

①については、年度始めの取り組みが有効と考え、地域学力向上推進幹を3度にわたって招聘し個別指導を受けました。柱には、「生徒の声（わからない・なぜ）に耳を傾ける。」「考える時間を設定する。（できるだけ考えを書かせる）」「めあてに対応するまとめ・振り返りの充実」の3つを設定し、この3つの柱を中心に前期に引き継いだ取り組みをしました。授業中の私語などほとんどなく、教師の努力が生徒に伝わっている印象でした。これからの先行き不透明な社会を生き抜くためには、教師主導の話し込みではなく、「自ら問いを立て、課題に向けて取り組むこと」が重要になります。そして、答えが不明確であっても最善解を求めようとする姿勢を毎回の授業の中で体験させたいと考えます。

②については、授業が充実してきている一方で、まだまだ家庭学習が十分ではないという声を保護者から聞きます（三者懇談等で）。「家庭学習取り組み表」の有効活用について、校内研究で「効果的な使用例」「家庭学習に結びつくコメント」などを収集し、再評価した上で、共有を図りましたが、まだまだ不十分なところがあります。3学期は「家庭学習取り組み表」の改良を中心に取り組んでいます。また、主体的・対話的で深い学びに向けての取り組みの中で、「振り返り」が課題ではないかと考え、2学期中も、次につながる「振り返り」について、授業の重点項目として取り組みましたが、やはり不十分ではないかと考えています。「振り返り」は自ら課題を把握することに直結します。充実してきている教科も出てきているので、教職員が互いに学びあう土壌を醸成したいと考えています。3学期中に「振り返りシート」の改良に取り組みしました。来年度に向けての重点項目であると考えています。

③については、生徒理解のためにi-check（年2回実施）や生活アンケート（毎月実施）等を行い、生徒の実態把握や学級集団について分析を行うことができました。生活アンケートが有効活用できるよう、アンケートから教員と生徒の対話が生まれるよう努めています。また、6月には菊池省三先生を招聘し、教職員が、子どもたちと一緒に学んでいく機会をつくることができました。一人一人の生徒にとっての居場所づくり、不登校生徒を生まない学級づくりへの取り組みを、さらに進めていきたいと考えています。また、今年度も毎月第一月曜日に保護司・更生保護女性会の皆様・生徒会・教職員・PTA生徒指導部が協力して、あいさつ運動に取り組んでいます。「あいさつ」は子どもたちが将来社会に出てからもとても大切なものです。今後様々な機会を通じて、十分な定着をめざしていきたいと思えます。

（その他）

感染症対策等を生徒とともに考え、自他の生命を守る態度の育成を日々行ってきました。今年度も、感染症のために行事が延期・縮小になりました。修学旅行は5/13～15の奈良・京都から10/18・19の長野・山梨に変更しました。「青雲祭」も9/14・15から9/24に変更・短縮になりました。また、合唱発表会を学年ごと（発表時には全校生徒が聴く形をとりました。）12月17・20・21に実施しました。どの行事も生徒たちの顔が生き生きしていて実施して良かったという感想をもちました。残念ながら保護者には参観していただけませんでしたが、ホームページ上で動画配信しました。今後も、生徒にとってかけがえのない中学校生活であることを我々教職員が認識し、感染対策をする中で、生徒たちにできるだけ活動を提供できるよう、努めていきたいと考えています。

##### (2) 来年度に重点化する取り組みについて

引き続き①「主体的・対話的で深い学び」の高い次元での実現②家庭学習の習慣化③生徒の声に耳を傾け、生徒にとって「楽しい学校」の実現（悩み相談、いじめ等の早期発見・早期対応を含む）の3つの柱に取り組めます。

3つの柱についての取り組みを継続していく中、特に、以下の項目についても重点的に取り組めます。

###### ①『学力向上・家庭学習の習慣化』

学力向上は学校教育の根幹であると考えます。全職員一丸となり、生徒・保護者とともに取り組みたいと考えています。

<具体的な取組>

- ・「振り返り」を次の学習につなげる活動の充実  
振り返ることで、自ら、足りなかったこと・努力したいことを見出させ、それを家庭学習に結びつける。  
振り返りシートの工夫、改善
- ・「家庭学習取り組み表」を充実させ、個に応じた学習指導を推進する。  
[担当] 研究主任, 学年研究担当

校内研究を通して、生徒が自ら問いを発し、協働により、課題を解決していく「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を行い、達成感や充実感の持てる授業実践を目指し研究を進めています。生徒が主体的に授業に取り組むことができるように、授業づくりに引き続き取り組んでいきたいと考えています。

生活アンケートにおいて家庭学習時間の調査を行ったところ、学習時間は二極化しており、家庭学習を継続している生徒が増加している反面、そうでない生徒の割合も増加しており、課題となっています。「家庭学習取り組み表」を通して、個別指導に努めていきます。

## ②『学級集団づくりの充実』

教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係がすべての教育活動の土台となることを考え、学級集団づくり・学級経営の充実に取り組んでいます。今学期は学校行事があり、更に充実させるチャンスでもあります。

<具体的な取組>

- ・各種検査の分析 (icheck, 生活アンケート) を学級経営に生かす。
- ・各学級での自己肯定感・自己有用感を高める取り組み (ほめ言葉のシャワー・成長ノート・価値語等) の充実
- ・学校行事や部活動などを活用し、一人一人の生徒が活躍できる場面の設定
- ・道徳教育の推進  
[担当] 研究主任, 学年研究担当

## 5 その他

### (1) 三者からの回答数

・生徒	416名	回収数	388名	(回収率	93%)	理由: 欠席・無回答
・保護者	416名	回収数	342名	(回答率	82%)	
・教職員	37名	回答数	37名	(回答率	100%)	

### (2) ご意見ご要望について

#### ○田富地区の回覧版に学校だよりをいれていただくことについて

今年度、第一回目の学校運営協議会の時に、ある委員様から「学校だより」を回覧板にいらしてもらい学校の取り組みを知っていただくのはどうか、という意見をいただきました。毎月発行する「学校だより」のすべてとなると個人情報的なことをはじめ支障があるかもしれないと考え、学期に1回ダイジェスト版という形で回覧板にはさんでいただくことにしました。このことについては、市議会議員様はじめ多くの方から評価していただきました。来年度も継続したいと考えています。

#### ○感染症対策について

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症により、学校行事の変更や健康管理など、生徒または保護者の方にも多くのご負担をおかけしています。現在も文部科学省や県・市からの指導に基づいた衛生管理マニュアルや感染拡大防止対策により、生徒の学びを最大限保障しながら感染及び拡大のない学校のために努力を続けているところです。

登校時の健康チェックの強化、給食の黙食、授業における生徒間の距離と話し合い活動の工夫などの具体的な方策とともに、生徒自身の意識の高揚をうながしています。ICT機器の活用も準備を進め、授業に取り入れながらその可能性を模索しているところです。

### ○学校からの情報発信について

コロナ禍により、授業参観や行事、部活動など生徒の活動の様子を直接保護者が目にする機会が減っています。学校・学年・学級通信をはじめ、生徒指導・保健・図書からのお便りなど、学校や生徒の様子、今後の予定などをできるだけお伝えするようにしています。8月の職員会議でも、できるだけこまめに学校の状況を家庭にお伝えすることを確認しました。現時点では動画配信などは個人情報の保護の観点から厳しいですが、写真や生徒の意見などを可能な限り発信したいと思います。また、緊急にお伝えしなくてはならない情報や予定変更等につきましては、学校メールを通じてお知らせをすることを予めご了承ください。

### ○学校評価について

昨年度より評価の回数を年1回から2回に増やしました。年1回では課題に対しての改善が次年度になってしまうことから、その年度内によりよく改善するために変更を行いました。前期(7月)・後期(12月)で行っています。前期では評価しきれない質問項目もありますが、後期に判断をしていただければと思っています。昨年度の学校運営協議会の中でも、年2回にしたことを評価していただきました。生徒・保護者・教職員の評価、第三者評価など、様々な方々のご意見を学校運営に反映させ、よりよい田富中学校の教育活動につなげていきたいと考えています。

### ○学校の決まり・生徒指導について

校則については、毎年見直しをしています。学校教育目標に沿いながら、その時代や状況に適したものになるよう検討していきます。また生徒自身にも決まりについて考えさせながら、生徒会を中心によりよい学校を作る力を養いたいと考えます。また校則だけではなく、学校生活においてお互いを尊重しながら、全校生徒が気持ちよく過ごすための環境づくりを、教職員と生徒がともに考え作り上げられるよう、より一層努力していきたいと考えています。

### ○家庭学習について

生徒の主体的な学びのひとつとして、昨年度より家庭での学習の充実を図っています。そのために帰りの会の時間を延長して、家庭に帰ってからの学習の計画づくりを行っています。それをもとに生徒は家庭学習に取り組み、その様子を自主学習ノートとして次の日に提出しています。担任や学年の教員で一人ひとりの自主学習ノートをチェックしながら、個々の評価やアドバイスを行えるように進めています。昨年度に比べ、かなりの生徒に定着しつつありますが、やり方や学習内容を含めより充実した活動となるために、きめ細かな指導が必要となります。校内研究会や学年部会などでより一層の研鑽を進めていきたいと考えています。

### (3) その他の取り組み

GIGAスクール構想の取り組みの中で、本校は一人一台端末(タブレット)の有効活用に取り組んできました。特に、コロナ感染症対策として話し合い活動・学びあいができない(制限された)状況の中、ジャムボードというアプリを使い、タブレットで生徒一人一人が打ち込んだ意見を、大型提示装置に映し出すことにより、生徒が多様な意見を知り、考えを深めることができたこと、など教職員が自主研修しながら、ICT教育を推進できました。

今後、コロナ感染症対策として学級閉鎖などが予想されますが、学びを止めないためにタブレットを活用しオンライン授業ができる準備もしました。3月17日には1・2年生9クラスでタブレットを持ち帰って授業を行います。

<参考資料> icheckの結果（2回目）

【標準スコア】		全国	1年	2年	3年	全校平均
	* 全国値+2ポイント以上で					
	* 全国値+1ポイント以上で					
自己認識	◆家族の☑さえ	50	50.6	51.3	53.2	51.7
	◆友だちの☑さえ	50	52.7	51.9	55.4	53.3
	◆先生の☑さえ	50	53.5	54.9	55.4	54.6
	①成功体験と☑信	50	49.7	51.0	54.0	51.6
	②充実感と☑上心	50	47.8	48.9	52.8	49.9
	③感動体験	50	53.3	53.6	57.1	54.6
	④他者からの☑価	50	53.4	52.7	55.1	53.7
社会性	⑤規範意識	50	52.4	50.2	54.0	52.2
	⑥思いやり☑人間関係構築力	50	51.1	52.2	54.9	52.7
	⑦発信力	50	50.6	50.0	54.2	51.6
	◆対話・☑し合い					
	⑧社会参画	50	52.2	50.9	54.4	52.5
学級環境	◆学級の☑規範意識	50	46.8	48.7	52.8	49.4
	⑨学級の絆	50	50.5	54.6	55.3	53.4
	◆いじめの☑イン	50	51.7	53.4	53.4	52.8
	◆対人☑トレス	50	49.0	48.8	50.4	49.4
生活・学習習慣	⑩生活習慣	50	50.6	50.2	51.4	50.7
	⑪学習習慣	50	50.0	49.5	52.8	50.8
	⑫学習意欲	50	48.7	48.5	50.6	49.3
平均		50	50.8	51.2	53.7	51.9

\* 全国平均を50としています。

icheckの結果を分析すると全国平均をほとんどの項目で上回りました。また、1回目（7月実施）より2回目（12月実施）のほうが、数値的に向上しています。「対人ストレス」については、まだ、どの学年も全国平均を下回っていますが、1回目よりどの学年も数値が向上しています。これは、2学期中に各学年・学級で様々な取り組みをした結果ではないかと考えています。対人ストレスは誰でも感じるものですが、多様な価値観をもつこと・自分の本音を出し合える集団にしていくことで改善していくのではないかと考えます。また、学級の規範意識、学習意欲、充実感について、全国平均を下回っているところに真摯に向き合い3学期の教育活動を推進しているところです。

生徒一人ひとりに自己肯定感や自己有用感を持たせる取り組みを、これからも工夫し、一人ひとりのよさや可能性を生かすように努めていきたいと考えています。指導については良い事例を共有し、全校体制で取り組めるような体制を構築したいと考えています。

### 第3回学校運営協議会

第3回学校運営協議会（紙上）において、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。

#### 【今年度の取り組みについて】

- ・生徒達の教育活動の様子は、毎月発行されている学校通信を通して把握でき、その活躍に大きな拍手を送りたいと思います。コロナ禍において、様々な対応や配慮が強く要求される一方、平常な学校教育と生徒達の成長を保証・促進させるべく多大な努力や苦勞に感謝いたします。
- ・前回迄の会議での話や資料、添付された学校通信等で、これ迄の取組についてはよくわかる。先生方、ご多忙の中で、生徒達の為に、年2回のアンケートの実施。特に2回目アンケートを12月に実施し、3学期と次年度の為に・・・という、思い、熱意。ありがたいです。
- ・すべての項目において、「概ね良好」であったということで、項目の学校教育目標が効果的であったことがわかるばかりでなく、授業改善に取組んだ成果として「学びに関する項目」が前年度を大きく上回っていることも素晴らしいと思います。家庭学習に関する取組は本校でも意欲的に行っているところですが、小中連携として良い流れをつくれるよう小学校としても今後さらに活発化させていきたいと考えます。

#### 【今年度のまとめ、来年度に向けて】

- ・「キャリアパスポート」を活用しながら保護者との連携や学年に応じたキャリア教育の内容等、前期より肯定率がアップし、やはり「見える化」の必要性を感じました。
- ・「主体的・対話的で深い学び」に迫る様々な取組や授業づくりが、確実に、生徒ひとりひとりの学力向上につながっています。さらに、「振り返り」の充実や「家庭学習取組表」の有効活用に努力して欲しいと思います。
- ・一学期中(ここが大事ですね・・・)地域学力向上推進幹を招聘して、3度の個別指導の実施。ポイントを絞った「授業づくり」は、より具体的で、学力向上につながっていくと思います。又、菊池省三先生を招聘して、教職員が子供達と一緒に学んでいく機会を作ったことにより、校内全体が前向きで、明るい、居心地の良い環境になっていると考えられる。この様な、学校、先生方の努力が、前期より、プラス評価につながっていると思います。
- ・「i-check」の結果の中で、「対人ストレス」について触れていますが、これは、項目としては「学級環境」ですが、その奥には、現代特有な携帯端末等を介した関係性も関与しているのでは・・・?とも、思います。生徒同士の対面的な関わりとSNS等での関りが複雑化していて、対人ストレス増の要因となっている可能性もあると思いますので、気を付ける課題だと思います。

#### 【来年度の学校経営方針の承認について】

- ・3つの柱への取組、特に「学力向上・家庭学習の習慣化」と「学級集団づくりの充実」を意識した来年度の学校経営方針は、明確で素晴らしいと思います。授業や学校行事を通して生徒達の学びと、校内研究を通しての教師達の学びを継続させて欲しいと思います。
- ・今年度の通り、年2回、アンケート実施し、短期での現状把握し、課題をみつけ、改善し、取組む～という、スタイル。「生徒にとって良い事だ。」と考えられる事には、積極的に取組む。それから、学力向上の点で、家庭学習の質を向上する意味でも、学校通信「誠実」R3.10月号の「振り返りの重要性」の中のご指導をぜひとも、各教科で具体的な指示、指導のもと、積極的に推し進めて欲しいです。通年的に、生徒には①判断力②相談する力を身に付けて欲しいです。それからヤングケアラーについても注視して欲しいです。
- ・私も②④学級経営・学級づくりの充実の項は大切であると思います。田富中の取組の具体を令和4年度には教えていただき、小中共に同じ目標をもって取り組めるようなスタイルでありたいと考えます。令和4年度の学校経営方針に関しては、提案の通りで承認いたします。

#### 【その他】

- ・感染症対策に苦慮する中でも、学校教育活動を停滞させることなく、改善・発展させた一年間、大変お疲れ様でした。地元の中学校在、保護者や地域から信頼される姿に触れ、安心と同時に益々の充実を期待しています。コロナ感染の落ち着きを待って、コミュニティ・スクール委員としての学校訪問(授業や行事)が可能となることを楽しみにしています。
- ・このコロナ禍対策も増えている中、「学校の取り組み」で年2回のアンケートに伴い、評価の為の集計や課題、それに対する取組、積極的な授業改善等、学校側、特に先生方の仕事量の増大による時間的なもの

だったり、精神的、肉体的負担について少々心配になります。生徒へ向き合う事を大事にしてくださり、本当にありがたく思います。何らかの作業や、事柄に、ぜひ我々地域の力を使っていただき、先生方の負担軽減に尽力できたらと思います。それが、生徒の為にもなると思っていますので・・・。

・学校通信「誠実」は、かつて、保護者だった者から見ても、地域の者から見ても、田富中、生徒、教職員への理解が深まる唯一のものだと感じます。その労力と熱意には頭が下がる思いです。R3.10月号「振り返りの重要性」・・・私が生徒だったらやる気がでる、ご指導だと感じます。R3.12月号「当たり前の日常」の大切さと、「日々の学び」の大切さ・・・については、大人も生徒もかみしめたいものでした。

多くのご意見ありがとうございました。情報化社会におかれた生徒の環境やヤングケアラー等の課題に目を向け、来年度の教育活動を推進していく所存です。なお、ご質問につきましては、ご意見ご要望の項目で回答させていただきました。